

看護部

1. 看護部理念

「私たちは、患者さんの立場に立ち 思いやりのある看護を提供します」

基本方針

- 1) 自分で考え、行動できる人材を育成する
- 2) 安全・安心な看護サービスを提供する
- 3) 経営に参画し、病院組織の一員として役割を遂行する

2. 令和6年度看護部目標

- 1) 地域のニーズに対応した質の高い看護を実践する
 - ① 患者に合わせた適切で質の高い看護を提供する
 - ② 認知症看護実践能力を向上する
 - ③ キャリアラダーを活用し、人材を育成する
- 2) 看護業務の効率化を推進し経営に積極的に参画する
 - ① 地域住民に選ばれ、事業計画に向けた病床運営を安定して行う
 - ② 介護福祉士・看護補助者とのタスクシェア・シフトにより、安全に業務を効率化する
- 3) 働き続けられる職場をつくり、看護師確保、定着を図る
 - ① 希望する勤務の実現に向けた体制を構築する
 - ② 看護職員の定着に向けた支援体制を構築する

3. 看護部運営概要について

看護の質向上を目指し、QSM 室 (Quality & Safety Management room: 医療の質と安全の管理室) を新たな部署として立ち上げ、キャリアラダーの活用開始、身体的拘束の最小化に取り組みました。

QSM の立ち上げにより、各分野のリソースナースが、組織横断的に活動し、看護実践の中で指導する機会を増加できるよう調整を開始しました。また、日本看護協会の DiNQL (労働と看護の質向上のためのデータベース) 事業に参加することで客観的に質評価と改善のヒントを得ることができました。

キャリアラダーの活用を通し、職員のキャリア形成、組織として必要な人材育成につながる体制としました。今年度、レベルⅠ 23 名、レベルⅡ 2 名、レベルⅢ 21 名、レベルⅣ 1 名が認定を受けました。引き続きキャリア支援と、新たに看護補助者ラダー、マネジメントラダーに取り組み、人材の育成を図ります。

身体的拘束の最小化に向け、チーム活動、リンクナースの育成に取り組み身体的拘束率の減少につなげることができました。次年度からは、院内のチームが中心となり活動を行います。

病床数の適正化を図るために年度途中で病棟編成が行われました。病棟編成に伴い、多くの職員の部署異動が発生しました。基礎疾患を抱えた高齢者の看護の必要性が増加していることを踏まえ、ジェネラリストとスペシャリストの育成とそれを活かす管理者の育成を進める一つの機会としたいと考えます。

働き続けられる職場をつくり、看護師確保・定着を図るために、地域の看護師の協力による隙間時間の応援体制（柏崎 応援隊 Ns）、新たな勤務体制の導入等に取り組みました。先輩看護師を中心に隙間時間の応援は期間限定で、8名が登録し、500時間以上の協力を得ることができました。長期的にシステム化するためには課題が残りましたが、地域医療に貢献したいと賛同された仲間に応えられ、心強く感じました。

新たに変則2交替勤務を導入しました。働き方に対する「多様な価値観」を認め合い、ライフスタイルに応じた交替勤務を実現するために導入し、3交替と変則2交替の希望に沿い開始しました。日本看護協会の「夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」に基づき心身の負担軽減につなげます。多くの課題がありますが、スタッフの意見をもとに、より充実した看護師ライフを送ることができるよう改善を続けます。

4. 看護職員動向について

令和6（2024年）年度4月の看護職員数は、345名（保健師14名、助産師16名、看護師246名、准看護師8名、介護福祉士20名、看護介護補助員41名）でスタートしました。令和6年度の看護職正職員採用者数は23名（新卒者19名、中途採用者4名）、退職者数は29名、転入者2名、転出者5名でした。退職の理由として、育児に関わる退職が21.4%、クリニックや慢性期病院を中心とした他施設への転職が17.9%。また、結婚や家族の転勤に合わせた転居が17.9%、医療事故に対する不安・責任の重さが14.3%。その他、病気、家事、介護による退職等がありました。

院内・院外発表

【院外発表】

令和6年11月16日（土） 厚生連看護部研究発表会

1. 西3階病棟 ○武田すみれ 岸 恵
麻痺が残存した壮年期の患者への社会復帰を見据えた退院支援
～回復期リハビリテーション病棟看護師の関り～

【院内看護研究発表会】

令和7年2月17日（月）

1. 西6 ○伊勢 歩美 横関泰江
腹膜透析導入期の看護実践
～IASM理論で事例を振り返る～
2. 透析室 ○小見 彩 青柳 里奈 徳永 美由紀
人生の最終段階で自分の意思を貫いた、ある透析患者と看護師の関りを振り返る
～宮坂のナラティブ検討シートを用いて看護実践を振り返る～
3. 西4 ○小林 萌花 安澤 真理 星野 日菜子 北村 貴子
脳外科疾患の経管栄養胃管挿入患者に対するミトン装着介助に向けた事例分析
～インシデントレポート、カンファレンス記録を振り返って～

<研究経過報告>

1. 東6 目崎 清美 今井満由美
弾性包帯による効果的な圧迫療法（仮テーマ）
2. 東5 中島 那奈子 星野 絵莉那 井部 夏帆 大矢 歩
硝子体術後の体位制限を経験した患者への身体的・精神的苦痛に関する聞き取り調査

令和7年3月

対象 目指すレベル	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新人研修 リーダーⅠ	19 18名 患者急変対応研修	19 8名 看護診断Ⅱ①	25 18名 輸血研修		6 19名 12か月フォローアップ研修 (発表会)	
	21 8名 看護診断Ⅰ①	20 10名 看護診断Ⅱ②	11 19名 入院院支援研修		7 19名 12か月フォローアップ研修 (発表会)	
	25 9名 看護診断Ⅰ②					
	20名 固定チームナーシング					
	15 18名 医療安全(事故分析)				13 19名 グリーンブーク、エンゼルケア	
	10月～12月 19名 院内留学					
	2、3年目看護技術習得月間	→				
リーダーⅡ						
		27 14名 固定チームナーシングⅡ			11 18名 ALS研修(レベルⅡ以上)	
リーダーⅢ		25 19名 英文習むⅡ				
	16 20名 トピックス研修 (アセスメント向上研修)			15 7名 固定チームナーシングⅢ 21 9名 入院院支援研修Ⅱ 30 11名 マネジメントⅢ(フォローアップ)		
リーダーⅣ以上						
プリセプター						
実地サポーター						
管理		20 12名 マネジメント研修Ⅱ(師長)	7 6名 (厚)師長研修(Zoom)		18 15名 12か月フォローアップ研修	12 16名 新プリセプター、 19 17名 実地サポーター、 連携研修
	7 30名 腫瘍予防研修①②③	14 30名 災害対応研修①②③ 22 31名 災害対応研修④⑤⑥	2～20 61名 認知症のある患者への関わり方(動画視聴)	17 59名 BLS研修①② 30 BLS研修③④⑤	26 12名 12か月フォローアップ研修	
	10 31名 腫瘍予防研修④⑤⑥					
補助員	5 4名 (厚)介護員研修(Zoom)					
全体		9～1月 エアーストレッチャー研修(分散)				
		1～30 268名 看護必要度研修(ナーシングスキル増強+テスト)				
	28 17名 認知症患者看護研修会(集会)	29 24名 腫瘍研修	20 24名 心電図研修	17 15名 難病看護研修		
	28 259名 認知症患者看護研修会(分散)	16 19名 (厚)看護研究発表会 (Zoom)	16～30 219名 (厚)認知症対応型研修	27～29 126名 看護研究の基礎Ⅱ (看護書査動画視聴)		
	11/30 看護研究発表会 (ナーシングスキル増強)		11/9～3/31 7名 後継者対象、看護補助者との協働推進のための研修(ナーシングスキル増強+テスト)			

厚生連主催研修

令和6年度 新人看護師入職時研修プログラム 実績

月日	時間	研修項目	目的	到達目標（研修・OJT）	担当	参加者
4/2 (火)	8:30～ 9:00	看護部の 紹介	柏崎総合医療 センターの看護 部について の理解を深め、専門職業 人として行動 する	1. 看護部の組織について知る 2. 看護部理念、目指す看護師につ いて考えることができる 3. すべての看護実践は、看護者の 倫理綱領に基づくことが確認で きる 4. 「看護職員として必要な基本姿 勢と態度」「看護実践における管 理的側面」「臨床実践能力」につ いて学び、生涯学習の必要性が イメージできる 5. 「社会人基礎力」の3つの能力 を学び自身のとるべき行動がイ メージできる	看護部 長 副看護 部長	19名
	9:00～ 10:00	専門職業 人として の心構え				19名
	10:10～ 11:10	新人看護 職員研修 の概要	新人看護師研 修について理 解を深め、目 的を持ち意欲 的に研修に参 加し学びを継 続する	1. 新人看護職員研修の概要を知 る 2. 新人看護職員を支える体制（関 係者）がわかる 3. 「新人研修ファイル」「基礎看 護技術」の活用方法を知る	教育委 員会： 新人研 修担当 師長	19名
	11:20～ 12:00	オリエン テーショ ン	配置部署の環 境や特徴を知 り組織社会化 につなげる	1. 配属部署の環境や特徴を知り働 くイメージができる 2. 配属部署のスタッフに挨拶する ことができる	配属部 署 看護師 長	19名
	13:00～ 13:30	ナーシン グスキル	看護実践にナ ーシングスキ ルを活用し学 習できる	ナーシングスキルの概要を知り活 用できる 1. ナーシングスキルの概要や利 用方法がわかる 2. 演習でナーシングスキルヘロ グインし視聴できる	基準手 順委員 会	19名

月日	時間	研修項目	目的	到達目標（研修・OJT）	担当	参加者
	13:30～ 14:00	柏崎総合用センターキャリアラダーについて	キャリアラダーを活用し専門職としての成長につなげる	キャリアラダーの概念を知り、看護専門職として自己の成長に繋げるための活用方法がイメージできる 1. キャリアラダーの概要を知る（4つの大項目と11の中項目） 2. 看護専門職としての能力開発、評価に必要なツールであることを知る 3. 新人看護職員として目指すレベルがわかる	師長会 キャリアラダーWG	19名
	14:30～ 17:00	入職者健診			配属部署 副看護部長	19名
4/3 (水)	8:30～ 9:30	安全管理	1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. 2. 医療安全の必要性和重要性をふまえて、臨床現場で安全に配慮した業務ができる	医療現場における安全対策の必要性和重要性を学び業務に臨むことができる 1. 医療における安全管理の概要を知る 2. 医療従事者としての安全管理に臨む考え方や態度を知る 3. 人間の特性「思い込み、錯覚、勘違い」がヒューマンエラーに影響を与えることを知る 4. 医療事故予防策を述べることができる	医療安全管理者	19名

月 日	時間	研修項目	目的	到達目標（研修・OJT）	担当	参加者
	9:30～ 12:00	与薬 (経口)	1.看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2.看護記録の概念や必要性を理解し、臨床現場で看護記録（電子カルテ）を記載できる	与薬業務を実施するための知識と方法を学び、指導のもと安全な与薬ができる 1. ナーシングスキルに沿い、経口与薬の手順を学ぶ 2. 当院の処方箋と薬袋の確認方法を知る 3. 指導の下、6R に沿い与薬の手順を体験できる 4. 与薬に関わるインシデント、安全対策を知る	医療安全対策委員会	19 名
	13:00～ 17:00	感染防止	1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. 感染対策の基礎知識と、重要性をふまえて、臨床現場で安全に配慮した感染対策行動が遵守できる	1. 手指衛生の 5moments が理解できる 2. 個人防護具の必要性を知り、正しい着脱方法を体験できる 3. 環境整備の必要性を理解できる 4. 医療廃棄物の分別方法が説明できる 5. 針刺し・切創事故の危険性を知る 6. 感染経路を知り、経路別予防策のポイントを理解する 7. N95 マスクを正しく装着できる	感染対策委員会	19 名

月 日	時間	研修項目	目的	到達目標（研修・OJT）	担当	参加者
4/4 (木)	8:30～ 10:15	看護記録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. 看護記録の概念や必要性を理解し、臨床現場で看護記録（電子カルテ）を記載できる 	<p>看護記録の概要と、診療情報の適切な取り扱い方を学び、指導のもと看護記録を記載できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「看護記録」の概念が説明できる 2. 「看護記録」の必要性が説明できる 3. 個人情報に配慮した診療情報の取り扱いの重要性を述べることができる 4. 当院における「看護記録記載基準」に沿って、指導のもと診療情報収集や電子カルテの入力が体験できる 	看護記録委員会	19 名
	10:15～ 11:00	重症度、医療・看護必要度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. 重症度、医療・看護必要度の概念と評価の必要性を理解し、臨 	<p>重症度、医療・看護必要度の概念と評価の必要性を理解する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 重症度、医療・看護必要度の概念を知る 2. 重症度、医療・看護必要度の評価項目と評価基準を記述する 3. 看護業務における重症度、医療・看護必要度の具体的な評価方法がイメージできる 	看護記録委員会	19 名

月 日	時間	研修項目	目的	到達目標（研修・OJT）	担当	参加者
			床現場で指導のもと評価できる			
	12:00～ 17:00	褥瘡予防の基本	1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. 基本的な褥瘡予防ケアを学び臨床現場で先輩と共に実践できる	褥瘡発生のメカニズムと予防対策を学び看護ケアに活かすことができる 1. 褥瘡発生のメカニズムが理解できる 2. 圧迫、ずれの予防対策方法を述べることができる <OJT> 研修で学んだ褥瘡予防対策（頭側挙上、背抜き）を支援を受けて実践できる	褥瘡対策委員会	19名
		体位変換 オムツ交換	1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. ナーシングスキルに沿った体位変換、オムツ交換	褥瘡予防を意識しながら、指導を受けて演習で体位変換とオムツ交換が体験できる 1. 手順に沿って指導のもと安全に上方移動、体位変換（仰臥位⇔側臥位）が実施できる 2. 体位変換枕、スライディンググロブを正しく使用できる 3. 当院で使用しているオムツの種類と使用方法を知る 4. 指導のもと、手順に沿ってオムツ交換が体験できる <OJT> 施設の規程に沿ったオムツの取り扱い、体位変換を支援を受けて実践できる		19名

月 日	時間	研修項目	目的	到達目標（研修・OJT）	担当	参加者
			ツ交換の知識と技術を身に付け、臨床現場で先輩と共に実施できる			
4/5 (金)	8:30～ 12:00	シャドー研修 (配属部署以外)	看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる	入職時研修の学びと重ね合わせ、看護業務や医療現場のリアリティーを体感できる 1. 医療現場、医療チーム、看護実践、患者などの現状を知り、リアリティーを体感できる 2. 入職時研修の学びを看護実践に重ね、専門職として働くイメージができる	教育委員会： 教育委員、または職場長が指名した担当者	19名
	13:00～ 17:00	患者観察の基本	1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. 視診、触診、聴診による患者観察の方法を理解し、臨床現場で指導受け実践できる 3. 患者の変	基本的なバイタルサインの観察方法を学び、指導者のもと系統立てた患者観察を実践できる 1. 視診と触診により、呼吸数、脈拍数を測定することができる 2. 呼吸音を聴診することができる 3. GCS を用いて意識レベルを評価することができる 4. 系統立てた患者観察を実践できる ＜OJT＞ ・到達目標 1～3 が看護技術チェックリストの3カ月評価時に「一人でできる」の評価になる ・支援を受けて、系統立てた患者観察により患者急変の前駆症状を発見しスタッフへ報告できる(10月の急変対応にて継続研修を行う)	救急委員会	19名

月日	時間	研修項目	目的	到達目標（研修・OJT）	担当	参加者
			化する状態（急変）の前駆症状を、臨床現場で指導を受けて系統立てて観察できる			
4/8 (月)	8:30～ 12:00	皮下・筋肉注射	1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. 2. 研修で学んだ皮下、筋肉注射の目的や手順を理解し、臨床現場で指導を受けながら安全に皮下、筋肉注射を実施できる	基本的な看護手順に沿った指導のもと、シミュレーターを使用して皮下、筋肉注射が実施できる 1. 皮下、筋肉注射の目的を述べることができる 2. 皮下、筋肉注射の部位を述べることができる 3. 皮下、筋肉注射のリスク、身体への侵襲を述べるができる 4. 針刺し事故予防行動が指導を受けできる 5. 薬液のシリンジへの吸い上げを体験できる 6. シミュレーターを使用して皮下、筋肉注射が実施できる <OJT> 施設の規定や手順に沿った支援を受けて皮下、筋肉注射ができる	基準・手順委員会	19名

月日	時間	研修項目	目的	到達目標（研修・OJT）	担当	参加者
4/9 (火)	13:00～ 16:00	シャドー 研修 （配属 部署） 看護記録 （電子カ ルテ操作 演習）	看護基礎教育 での学びと看護 実践を結び 付け、施設の 臨床現場での 看護実践がイ メージできる	入職時研修の学びと重ね合わせ、看護実践や医療現場のリアリティーを体感できる 1. 医療現場、医療チーム、看護実践、患者などの現状を知り、リアリティーを体感できる 2. 入職時研修の学びを活かし、臨床で指導のもと看護業務を体験することができる 3. 研修体験を同期で共有し、部署で働くイメージができる	教育委員会： 教育委員、記録委員 または 職場長が指名した担当者	19名
	16:00～ 16:30	シャドー 研修振り返り GW		＜シャドー研修：看護記録 OJT＞ 1. 当院における「看護記録記載基準」に沿って、指導のもと診療情報収集や電子カルテの入力が体験できる		19名
	16:30～ 17:00	看護補助者との協働（導入編）	看護補助者の役割や責任の違いを理解し、業務に臨む	看護補助者の役割や責任の違いを知り、協働して働くイメージができる 1. 看護補助者の役割や業務、責任の違いについて知る 2. 看護補助者と協働して働くための具体的行動を述べることができる	副看護部長	19名
	8:30～ 12:00	採血	1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. 研修で学んだ採血の目的や	基本的な看護手順に沿い指導のもと、シミュレーターを使用して採血が実施できる 1. 採血の目的を述べることができる 2. 当院で使用している採血管の種類や、採血後の取り扱いを知る 3. 採血に適した部位を述べることができる 4. 採血によるリスク、身体への侵襲を述べることができる 5. 確実な止血方法を知り、実践できる	教育委員会	19名

月 日	時間	研修項目	目的	到達目標（研修・OJT）	担当	参加者
			手順を理解し、臨床現場で指導を受けながら安全に採血を実施できる	6. シミュレーターを使用して採血が実施できる ＜OJT＞ 施設の規定や手順に沿って支援を受けて採血ができる		
	13:00～ 17:00	静脈注射 点滴静脈内注射	1. 看護基礎教育での学びと看護実践を結び付け、施設の臨床現場での看護実践がイメージできる 2. 研修で学んだ静脈注射、点滴静脈内注射の目的や手順を理解し、臨床現場で指導を受けながら安全に静脈注射、点滴静脈内注射を実施できる	基本的な看護手順に沿って指導のもと、シミュレーターを使用して静脈注射が実施できる 1. 静脈注射、点滴静脈内注射の目的を述べることができる 2. 静脈注射、点滴静脈内注射に適した部位を述べるができる 3. 静脈注射、点滴静脈内注射によるリスク、身体への侵襲を述べるができる 4. シミュレーターを使用して静脈注射、点滴静脈内注射が実施できる 5. 点滴静脈内注射施行中の患者の観察項目、安全な管理方法を述べるができる ＜OJT＞ 施設の規定や手順に沿って支援を受けて静脈注射、点滴静脈内注射ができる	教育委員会	19名

令和7年3月 作成
柏崎総合医療センター看護部 教育委員会

新潟県厚生連研修（オンライン研修）

研修会名	テーマ	月 日	参 加 者
教育研修Ⅰ	看護倫理：ともに考えよう看護倫理！	8月10日	4名
教育研修Ⅱ	新人研修：自分の価値に気づこう！	6月23日 6月29日 7月6日	新人看護師 19名
教育研修Ⅲ	リーダーシップ研修Ⅰ 貴方らしいリーダーシップを磨こう！	7月20日	4名
教育研修Ⅳ	リーダーシップ研修Ⅱ スタッフ育成にいかすティーチングと コーチング	9月21日	4名
教育研修Ⅴ	介護員研修 ブラッシュアップで介護のスキルを高 めよう	10月7日	4名
看護部研究発 表会	ともに学び ともに育つ	11月16日	19名
看護スキル アップ研修	看護スキルアップ研修 ①診療報酬改定と身体拘束について ②認知症ケア ③ACP	11月30日	3名
キャリアラ ダー情報交換 会	「キャリアラダー情報交換会」 悩んでいることを聞いちゃおう！取り 組んでいることを教えちゃおう！	10月22日 10月31日	5名
主任研修	問題の本質を理解し課題を解決しよ う！	9月7日	5名
師長研修	地域の中の自組織・自部署を考える	12月7日	6名
看護部長 副部長研修	行動変容に繋がる動機づけ面接法を身 につけよう	8月24日	金泉 まゆみ 矢嶋 真由美 池野 美奈子

令和6年度 研修参加状況

看護学会

主 催	学 会 名	月 日	参 加 者
日本農村医学会	日本農村医学会 新潟地方会第73回例会	4月20日	発表：中村文枝 座長：金泉まゆみ 幹事病院にて 運営協力13名
日本糖尿病学会	第67回日本糖尿病学会年次学術集会	5月18、19日	小林 美和子 五十嵐 亜衣
日本感染管理ネットワーク	第12回日本感染管理ネットワーク学会 学術集会	5月31日、6月1日	徳原 伸子
日本透析医学	第68回 日本透析医学会学術集会・総会 (オンライン)	6/10～28	吉野 綾子
日本認知症ケア学会	第25回日本認知症ケア学会学術集会	6月15日、16日	島田 美樹 春川 奈緒美 (オンライン)
日本糖尿病教育看護学会	第29回日本糖尿病教育看護学会年次学術集会、交流集会	9月21、22日	小林 美和子
日本農村医学会	第73回日本農村医学会学術集会	10月14、15日	座長：金泉まゆみ
新潟県看護協会	2024年度新潟県看護協会 看護学会	11月5日	島田 美樹
日本救急看護学会	第26回日本救急看護学会学術集会	11月18、19日	春川 一樹
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	第42回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	2月7、8日	中村 文枝
日本がん看護学会	第39回日本がん看護学会学術集会 (オンライン)	2月22日、23日	横関 泰江

令和6年度 研修参加状況

短期・長期研修

主 催	研 修 名	月 日	参 加 者
新潟県看護協会	認定看護管理者教育過程 「セカンドレベル」	5月16日～7月18日	檜出 芳子
新潟県看護協会	認定看護管理者教育過程 「ファーストレベル」	7月25日～10月18日	西 優子 阿部 麻衣
Vitaars	特定行為研修 集中治療領域パッケージ 動脈血液ガス分析関連	7月～	品田 希
医療安全全国 共同行動	医療安全管理者 養成研修	7月～10月 (e-ラーニング+オ ンライン演習)	下條 英子 小関 浩子

新潟県看護協会研修

研修項目	研修会名	月 日	参 加 人 数
「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	新潟県委託事業 認知症対応能力向上研修（3日間） （※認知症ケア加算2の施設基準に該当する研修）	8月19日29日 9月2日	2名
ラダーと連動した継続教育	はじめての教育委員	6月6日	1名
	施設内研修企画に必要な基礎知識（2日間）	8月2日 9月13日	1名
	看護現場で活かせるフィジカルアセスメント ～急性期編～	9月11日	1名
	行動変容を引き出すコミュニケーション	9月25日	1名
	メンタルヘルスケア（新人編） ～ストレスに負けない自分づくり～	10月3日	1名
	摂食嚥下障害のある患者の看護 ～最後まで自分の口から食べたいを支えるために～	10月23日	1名
	多職種間カンファレンスに求められるカンファレンススキル	10月9日	1名
	メンタルヘルスケア（新人編） ～ストレスに負けない自分づくり～	10月3日	1名
	臨床経験3～4年目ナースのキャリアデザイン ～専門職としての成長のために～	2月27日	2名
医療安全研修	コミュニケーションに活かすコンフリクトマネジメント～メディエーションの理論と技法～	10月10日	1名
	看護記録と法的責任 ～看護記録はどうあるべきか～	9月18日	1名
専門性の高い看護職員育成事業	つながる・ひろがる・たかめる ～専門性の高い看護～	11月22日	2名
WLB推進事業	WLB推進事業研修 「就労継続が可能な看護職の働き方の提案～変則2交代勤務の実現に向けて～」	8月23日	3名
訪問看護推進事業	在宅看護（入退院支援）研修会 公開講座	6月20日 10月5日 11月9日	1名
	訪問看護従事者研修会（管理編） ～キャリアアップコース～	6月8日 6月29日 10月26日	1名
看護教員研修	経験型教育における授業展開	1月21日	1名
看護協会 看護連盟合同	看護協会・看護連盟合同研修会 「2040年を見据えた新たな看護ビジョン」	2月8日	1名

職能研修	保健師職能集会	6月12日	2名
	助産師職能集会	6月12日	1名
	助産師職能研修会	10月2日	1名
	助産師情報交換会	11月28日	2名
	保健師等研修会	11月7日	1名
	看護師職能 I、II 情報交換会	11月13日	1名
看護学会	第31回新潟県看護協会看護学会	11月5日	1名

その他の学会・研修

主 催	テーマ	月 日	参 加 者
S－Q U E 研修会 日本マネジメント 学会	24' 「重症度、医療・看護必要度」 評価者及び院内指導者研修	6月28日～9月30日	14名
S－Q U E 研修会 全日本病院協会	令和6年度診療報酬改定対応研修 「身体ケアを行う看護補助者のための実 務研修」	①6/6～6/26、28 ②7/2～7/22 、25	①4名 ②1名
新潟県・新潟大学 医歯学総合病院	第1回新潟県肝炎医療コーディネーター 養成研修	7月23日	北村 貴子 霜田 あゆみ 藤田 理佐
日本医療メディ エーター協会	医療コンフリク・トマネジメントセミ ナー	7月20、21日 基礎編	行田 由香
日本医療メディ エーター協会	医療コンフリク・トマネジメントセミ ナー	7月20日 導入編	佐久間 藍
新潟手術医学研究 会	第33回新潟手術室セミナー	9月7日	吉岡 智美 佐藤 恵理子
日本救急看護学会	2024年度災害看護初期対応セミナー	9月16日	小笠原 直美
東北ブロック DMAT	令和6年度第3回東北ブロックDMAT技能維 持研修	11月18, 19日	行田 由香
電気事業連合会	電気事業連合会 オンサイト医療 実務 研修	12月13日	行田 由香
新潟大学医学部災 害医療教育セン ター	令和6年度新潟DMAT病院避難実働訓練	12月5, 6日	春川 一樹
新潟県	新潟県原子力防災訓練	1月25日	行田 由香 春川 一樹
日本DMAT	令和6年度災害派遣医療チーム (DMAT) 研修	令和7年 1月28日～30日	神丸 惣
日本災害医学会	第30回日本災害医学会総会・学術集会記 念大会	3月6日～8日	行田 由香 春川 一樹

看護学生 実習受け入れ状況

受け入れ学校名	実習科目	人数
国立病院機構 新潟病院附属看護学校	母性看護学	4名
	老年看護学	20名
	経過別看護 急性期	35名
	経過別看護 終末期	46名
	成人看護学	40名
	地域・在宅看護学	9名
長岡崇徳大学 看護学部	母性看護学	11名
	小児看護学	19名
	成人看護学 I	17名
	統合実践	4名
新潟青陵大学 看護学部	助産学	1名
県立看護大学 看護学部	在宅看護学	4名